

2025 年度自己点検・自己評価

KS 国際学院
校長 小澤直子

5: 達成している 4: ほぼ達成している 3: どちらともいえない 2: 取り組みを検討中 1: 改善が必要

1. 教育理念・目的等に関する評価

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は何か	5
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
1-4 理念に基づく教育が行われているか	5

*実施策

2. 学校の運営に関する評価

2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
2-7 危機管理体制は整備されているか	5
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

*実施策

業務上の諸問題に関しては日々の打ち合わせ、定期的な会議で報告され、全体会議において方針が示される。教育の面においては、校長及び専任教職員が日常的に情報共有している。

災害時における転学支援の体制も備えている。

情報システム化については、教育デジタル化を進めている最中である。

3. 教職員に関する評価

3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5
3-3 教職員評価を行っているか	3

*実施策

本校の教育理念や目的については全体会議のとき、すべての教職員に対して訓示があり共有されている。

新任教師には教務主任が授業案について助言・指導を行うと共に、教師間の授業見学を推奨し、フィードバックを行うことで、相互に研鑽することができる。

また、非常勤講師も含めた全体会議でも、授業の進め方、教材について取り上げ、授業の質の向上、改善に努める。

4. 教育活動に関する評価

4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2	授業評価の実施・評価体制はあるか	5
4-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
4-4	成績評価は適切に行われているか	5
4-5	資格取得の指導体制はあるか	5

*実施策

教務主任が全体のカリキュラム編成と授業日程の作成に直接あたることで、体系的な教育活動がはかれるよう努める。

初任者研修、中堅研修、主任者研修への参加を推奨する。

成績評価は、日々の小テストの結果、課題の提出状況、期末試験の結果及びルーブリックにより評価を行い、成績に反映させる。

5. 学校運営に関する評価

5-1	進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3	学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5	保護者と適切に連携しているか	5
5-6	卒業生への支援体制はあるか	4
5-7	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
5-8	日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

*実施策

年に一回の健康診断を行い、学生の体調管理を行う。

本校には、中国語、ベトナム語、英語、ネパール語が堪能なスタッフを配置し、学生からの相談があった際には、母国語で対応できる体制を整えてある。

出席状況、学習態度等に問題のある学生の保護者には連絡を取り、改善を促すよう努める。進学についても、外部進学説明会にも参加し、専任教員と協力し細かく支援に当たる。

6. 在留管理と生活指導に関する評価

6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4	常に最新の学生情報を把握しているか	5

*実施策

入学時、前期後期の始めに、オリエンテーションを実施し、学校生活だけでなく日本社会で生活していく上でのマナーについても周知を図る。

ホームルームを利用して、トラブルや法令違反を未然に防ぐ指導を行う。

定期的に学生と面談し、入管等の法令、進路、生活等の指導を行い、その内容を記録し、情報の共有を図る。

7. 学生の募集と受け入れに関する評価

7-1 学生の受入方針は定められているか	5
7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
7-4 入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

*実施策

送り出し機関と連携を図り、現地での面接と筆記試験を行い、進学を希望する適切な学習レベルにある学生を選抜する。

定員については、毎年見直しを行い、変更時には遺漏なく関係諸機関に申請及び報告を行う。

8. 財務に関する評価

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

*実施策

開校から5年経過し、学生数が確保できており、経営的には安定してきたと言える。

9. 法令等の遵守に関する評価

9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	5
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	5
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

*実施策

本校は法令や基準等を遵守しつつ運営しており、広島県学事課、出入国管理庁への各種申請・定期報告等も遅滞なく行われている。

自己点検・自己評価はホームページにて公開する。

10. 社会貢献に関する評価

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

*実施策

福山国際交流協会の行う「びんごフォーラム」「外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」等に参加し、地域の住民との交流及び社会貢献に寄与する。

地域の住民と共にスポーツ・文化行事等への参加協力を推進し、またボランティア活動も奨励・支援を推し進めていきたい。